

事業所職員向け 児童発達支援自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		子どもの状態に合わせて個室、大部屋を使い分けています。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		玩具が見えるように配置した部屋と玩具があまり見えないよう収納を工夫した部屋を用意しています。また必要に応じて、絵などの視覚的指示を活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地良く過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		
業務改善	5	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		週1～2回、スタッフ全員参加の会議を実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施すると共に、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うと共に、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		経営に関しては、月1回税理士の監査を受けています。また、札幌こころの診療所との連携の中で改善点などはその都度指摘いただいています。
	9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		法人内研修を実施している他、研修には積極的に参加しています。また、ちくたくにお願いして療育へのアドバイスをいただくなど、外部からのアドバイスもいただいています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○	新版 K 式発達検査を当事業所のスタッフが取ることも出来ます。また、K 式や PARS などの検査結果を、札幌こころの診療所と共有しています。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で具体的な支援内容が設定されているか	○	
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○	週 1～2 回、スタッフ全員参加の会議で決定しています。
	15	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○	活動プログラムの記録や反省を文章化して残すことで、見直しができる状態を整えており、常に内容を吟味しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○	
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○	
	19	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○	今まで対象児はおりません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関と連絡体制を整えているか		○	今まで対象児はおりません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		個別支援計画を渡してもらうように保護者の方をお願いしている。また、必要に応じて訪問・電話での情報共有もしています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		全員に文章で今の状態を記してお渡しすることで、情報共有をはかっています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		○	当事業所は個別セラピーを中心としており、頻度も週に1~2回と少ないこと、保育園や幼稚園に通われているお子さんがほとんどであることから実施していません。
	29	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	今後の検討していく課題です。
	30	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っているか	○		
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか	○		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
保護者への説明責任等	32	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		毎回一緒に来所していただき、お話を する機会を取っています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会等はありませんが、年中以上のお子さん向けに就学に関する勉強会は開いています。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		会報などはありませんが、毎回一緒に来所していただくので密な連絡は取れていると思います。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		○	イベント等は設定していません。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点 課題や改善すべき点など
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知すると共に、発生を想定した訓練を実施しているか	○		札幌こころの診療所の医師や看護師とも相談しながらマニュアルを作成しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		ビル全体の避難訓練が年に2回実施されており、必ず参加しています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	○		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○	身体拘束は行っていません。今のところ、その必要性もないと感じています。